

# 「解答例」

<p>選抜区分</p>	<p>2022（令和4）年度（選抜区分：後期日程）          外国語学部 中国学科（科目名：小論文）</p>
<p>問一（出題の意図）別紙</p>	<p style="text-align: right;">問一</p> <p>外国語でコミュニケーションを取るようになれるためにはしつかりした語彙を持つことが必須である。しかし日本の外国語の語彙学習教育では、どうしたら語彙数が増えるかという観点が主で、学習者がひとつひとつの語の意味をどれだけ深く理解し的確に運用できるか、という観点はほとんど考慮されていない。また、母語と外国語で一見対応する単語があると、言語によって線引きの仕方は多様にもかかわらず、我々は言語間の「点」から、その外国語の語が「面」としても母語の語の意味と重なると考えがちである。外国語の語彙学習が難しいのは、ことばで与えられた定義から単語の意味の範囲を決め、母語で対応する単語の範囲を無意識に外国語の単語に当てはめてしまふことにあるが、無自覚に母語の概念で外国語を理解しようとするのではなく、母語の概念枠組みに敏感になり、母語について言語感覚を磨いておくことが外国語学習においては重要である。（392字）</p>